

《主要取組項目と総合指標》

【イメージの改善】（市民意識調査 n=677）
 H27年度 40.3%

【市外転出意向の理由】（H27.10ファミリーアンケート n=186）
 取組の結果

- 治安・マナーが悪い (43.4%) → ひったくり、自転車盗激減
- 住宅に対する不満 (16.9%) → ゆとりある住宅の増
- 学校教育に不満 (6.6%) → ほぼ全国平均に向上
- (自然) 環境面が悪い (5.4%) → 環境モデル都市への選定
- 子育て支援に不安 (4.8%) → 保育施設 定員増

【イメージの改善】（市民意識調査 n=1,045）
 R2年度 56.6% 〈主な理由〉駅周辺がきれいに整備され景観が良くなった (41.0%)

【市外転出意向の理由】（R2.3ファミリーアンケート n=261）

- 治安・マナーが悪い (32.2%)
- 住宅に対する不満 (24.5%)
- 学校教育に不満 (5.0%)
- (自然) 環境面が悪い (2.7%)
- 子育て支援に不安 (6.5%)

主要取組項目

子ども・教育

- ・児童相談所
- ・子ども医療費
- ・待機児童対策

学び・つながり・ささえあい

- ・地域課、生涯、学習！推進課の取組
 (みんなの尼崎大学、インターンシップなど)
- ・高齢者の生きがい
- ・健康 (全年齢)

魅力向上 (ブランディング)

- ・エリアマネジメント
- ・マナー (たばこ、ポイ捨て、生活安全)

脱炭素・経済循環

- ・再エネ、省エネ
- ・あま咲きコイン

アンケート結果を踏まえ
 PDCAサイクルを構築し、
 課題を明確にし、
 対応してきた10年

引き続き、課題に対応し、
 それを実感と手応え、
 誇りにつなげる10年

現 総合計画

次期 総合計画

総合指標

継続

ファミリー世帯の転出超過抑制
 市民としてのプライド

市民参画指数 (参画・推奨・感謝)
 まちの一員としてのプライド

あまがさきに住みたいと感じる人の割合
 まちの住み心地を高める

新たに追加？

計画期間の背景

量から質の時代へ
 公共施設の老朽化への対応着手
 環境問題の顕在化
 高齢化・少子化の進行
 人口減少社会の現実化

質の向上・多様性を重視
 高齢化・少子化の進行 (労働力の減少)
 人口減少社会の現実化 (空家の増)
 南海トラフ・想定を超える自然災害
 脱炭素社会実現への取組
 SDGs・ポストSDGs
 情報技術の革新・デジタル社会
 公共施設の老朽化・FMの推進

行政運営

尼崎らしい

ありたいまち

ひと咲き まち咲き あまがさき

- ①社会的包摂・多様性 「ほっとかない。だれも。なにも」
- ②シチズンシップ(・シビックプライド) 「みなぎる。つながる。わたしたちのチカラ」
- ③産業・活力 「きり拓く。ひと、しごと」
- ④利便性・都市インフラの充実 「たかまる。便利でご機嫌な暮らし」
- ⑤持続可能性 「ひろげる。一歩先の選択肢」